

「語りもんそ」

Vol.25 平成25年 3月 31日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

宝山プレゼンツ

クラシックっていいな～
ファミリーコンサート
2013年1月12日(土) 宝山ホール



0歳児から親子で、ご家族でクラシックの生の演奏が楽しめるファミリーコンサートは、「打楽器にさわろう!」「みんなが指揮者!」「間近で見よう!」などのコーナーがあり、多くのお客様が体験されました。演奏はクオリティが高く多様なジャンルに柔軟に対応できる技能を持っている演奏家たちの集まりである“宝山室内アンサンブル”。

●宝山室内アンサンブル



●「みんなが指揮者!」コーナー



●「間近で見よう!」コーナー



○お客様に感想をお聞きしました

・玉井真理子さん 鹿児島市郡元
「本物の生の演奏を子どもと楽しめる機会があるのは大事ですね。クラシックが身近になるし、楽しい企画に娘も大きな声を出して楽しんでいました。未就学児も一緒に聴けるクラシックコンサートがもっとあるといいですね」と話して下さいました。



優花ちゃん 玉井真理子さん 遠くん(11か月)

♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪

カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで、開催されています。

(入場料は無料。要ワンオーダー)

●1月27日(日)は川野貴之さん(テノール)と堂原梨寿夢さん(ピアノ)のお二人で、ジャズバージョンの“上を向いて歩こう”や“千の風になって”など10曲が演奏されました。お客様からは「情景が浮かんで心が温くなるような演奏で、もっともって聴きたい。また来ます。とても感動しました」などの感想をいただきました。



堂原梨寿夢さん 川野貴之さん

●2月24日(日)は、フルートデュオ“Duo AQUA”の濱崎恵さん・福森路子さんと小野聡子さん(ピアノ)の三人で、フルートは木管楽器であることや種類・特徴の解説などもおりこんだ演奏でした。“パッヘルベルのカノン”、“美女と野獣”、ジャズアレンジした“エリーゼのために”など清純で華やかなフルートの音色とピアノで11曲が演奏されました。



福森路子さん 濱崎恵さん 小野聡子さん

●3月24日(日)は濱田隆敏さん(ヴァイオリン)と兒玉友多郎さん(ピアノ)のお二人で、モーツァルトの“ヴァイオリン協奏曲第4番”やメンデルスゾーンの“ヴァイオリン協奏曲”“宵待ち草”など日本の愛唱歌メロデーを演奏され、お客様から「選曲がとても良かった。心洗われるような爽やかな朝になりました」などの感想をいただきました。



兒玉友多郎さん 濱田隆敏さん

平成24年度宝山ホール自主文化事業
『Kagoshima Music Live』
2013年2月23日(土) 宝山ホール



“50年後のカゴシマに残す歌”をテーマに、鹿児島のアーティストによる音楽の祭典。

出演者は有村航平さん(チェロ)、宮井紀行さん(ポップス)、上玉利三司さん(民謡)、永志保さん(奄美島唄)、松本圭使さん(ジャズピアノ)、高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」キャスト、かごしま子どもミュージカル「この花咲くや姫」キャスト他の演奏に最高の公演だったと多くのお客様から感想をいただきました。



かごしま子どもミュージカル「この花咲くや姫」キャスト

○お客様に感想をお聞きしました

・日高優希さん 東瀬戸彩乃さん 中央高校1年
「生で聴く歌や演奏はテレビやCDよりも迫力がありとても感動しました。“ヒメとヒコ”は同じ年頃の人達とは思えないすてきな歌と踊りでした。」



日高優希さん 東瀬戸彩乃さん

平成24年度公共ホール音楽活性化
アウトリーチ・フォーラム事業鹿児島セッション

ガラ・コンサート

～クラシック音楽を楽しもう～

2013年3月2日(土) 宝山ホール

アンサンブル・ミクスト(木管五重奏)とマルシェ弦楽四重奏団が、鹿児島市内の小学生との音楽交流を経て、県内4か所(中種子町・長島町・徳之島町・鹿屋市)で小中学生との音楽交流と公共ホールでのコンサートを実施しました。

その2組のアーティストが宝山ホールに集まり、これまでの活動の集大成となるファイナルコンサートを行いました。

○お客様に感想をお聞きしました

・重富中学校吹奏楽部の皆さん

2012年県代表として出場した九州吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、全日本吹奏楽コンクールでは銀賞を獲得したメンバーです。

「管弦どちらとも響きの豊かさがすごかったし、弦楽四重奏のピチカートに感動しました。木管五重奏のアンサンブル・ミクストは5人だけなのにホール全体に響いていたのがすごいと思いました。とても感動しました。一生懸命練習を頑張りたいと思い

ます」と感想を話して下さいました。

●終演後マルシェ弦楽四重奏団のメンバーとともに。



二列目 川路唯以さん 中村優那さん 祁答院京香さん
前列 久保田恵さん 並河咲希さん 木山良菜さん

平成24年度宝山ホール自主文化事業

『演劇講座』

演劇について語らい、脚本を書き、演じるまで学んでみませんか?

2013年2月16日、2月17日、
3月16日、3月23日 宝山ホール

昨年の「演劇講座」では、4日間に渡り、座学を中心に西洋の演劇史や日本の演劇史を学び、ドラマリーディングを体験する内容でしたが、今年は受講者の方々が4日間で1から作品を作り、上演までを行いました。

1日目は「演劇を語らう」「役を演じるとは・・・」 2/16

2日目は「脚本を書いてみる」 2/17

3日目は「脚本を表現する」 3/16

4日目は「脚本を上演する」 3/23

4日間演劇を学び、受講者の皆さんが自分たちで作ったオリジナル作品を観客を前に上演し、演劇の醍醐味を味わいました。

お客様からは「内容・演技がとてもすばらしく感動しました。良かった」などの感想をいただきました。

平成24年度文化庁

次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

さわってみよう

能の世界

3月28日(木) かがしま県民交流センター

後世に伝えるべき、貴重な人類の財産として広く世界に認定されている「能楽」を、日常では触れる機会が少ない子どもたちに能舞台で謡や仕舞を体験し、笛や小鼓などの本物の楽器に触れるなどして「能楽」を身近に感じてもらいました。

第2部では狂言(和泉流)「盆山」、半能(金春流)「舟弁慶」を観賞しました。

○体験の感想をお聞きしました

・平岡夏妃ちゃん(小4) 鹿児島市与次郎

「笛はむずかしかったけど音が出た時はヤッタ!と思いました。小鼓や大鼓は手が痛くなったけど太鼓はすぐ音が出るし手も痛くなくとても楽しかった。

“舟弁慶”は謡で習ったところがすぐわかりました。狂言では大きな声がなかなか出なくて苦労したけど今日はとても楽しかったです。」と明るく元気な声で話してくれました。



平岡三佳さん 夏妃(なつき)さん

○体験内容のご紹介



仕舞(しまい) 能舞台



謡(うたい) 能舞台 狂言(きょうげん) スタジオ



小鼓(こつづみ) 大鼓(おおつづみ) リハーサル室



太鼓(たいこ) 笛(ふえ) リハーサル室

●観賞した“舟弁慶”(金春流)



《今回の取材担当》

取材記事 広報ボランティア 堂園 和吉・中園 文夫
城 勝美

撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行

宝山ホール広報ボランティア 『語いもんそ』編集部
〒892-0816 鹿児島市山下町 5-3 宝山ホール
電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503